

MORI MORI PRESS

2014 8 vol.39

モリモリアレス

森田としかず(前埼玉県議会議員)

昭和49年9月熊谷市久保島生まれ
 広瀬保育園、熊谷市立玉井小・中学校、埼玉県立熊谷高校、
 早稲田大学政経学部、カナダ・マギール大学留学、
 早稲田大学大学院博士課程を経て…
 28歳・県議選初挑戦(23票差で次点)
 30歳・訪問介護事業開始 32歳・県議選初当選
 33歳・介護施設上川原んち開設 36歳・県議選2期目当選
 38歳・衆議院議員選挙初挑戦(55,663票で次点)

〒360-0831 熊谷市久保島1003-2
 tel.048-530-6001 fax.048-530-6002

 mori_morita  森田俊和

モリモリプレスとは!?

森田としかずのビジョンや政治に対する思い、地域活動の記録などを皆様にお伝えする広報紙です。
 ※バックナンバーはホームページからダウンロードいただけます。



「どんな状況でも職務を全うするだけです!」 ~自衛隊部隊見学で防衛の最前線にふれる~

自衛隊のご厚意により、例年日本青年会議所会員を対象とした部隊見学が行われています。今年は7月29、30日



CH-47型ヘリコプターで移動

の1泊2日で開催され、私も青年会議所側の責任者として参加し、近畿地区にある陸上、海上、航空、各自衛隊の部隊を訪問しました。防衛省の広報課長さんによると、部隊見学は「見て、ふれて、知っていただいた上で、自衛隊のことを適切に批判していただくために開催している」とのことでした。そのような姿勢の表れか、かなり踏み込んだところまで見せていただきました。

1日目、7月29日の集合は、航空自衛隊の入間基地です。ここから航空自衛隊のCH-47型ヘリコプターに搭乗し、今日のメニューは穴子のひつまぶし風! 最初の見学地である航空自衛隊小松基地(石川県小松市)まで移動します。入間基地を飛び立ったヘリは、荒川の南側、行田、熊谷付近を飛行し、北へ向かいました。小松基地に到着し、昼食に隊員の方と同じ食事をいただきました(代金はちゃんとお支払いしましたよ!)。小松には、日本海側唯一の戦闘機部隊が配備され、防空の要であるF15型戦闘機がいつでも飛び立てるよう準備をしています。最近では尖閣の問題もあって、中国機への対



イージス艦「みょうこう」も停泊

応が増えているようですが、個別の基地からどのくらいスクランブルで飛び立っているかは機密事項とのことでした。

小松基地から再びヘリコプターで移動し、次

護衛艦の心臓部、戦闘指揮所(CIC)に訪れたのは海上自衛隊舞鶴地方総監部(京都府舞鶴市)です。日本の近現代史を見つめてきた旧海軍時代からの建物を見せていただいた後、護衛艦「しらね」を見学しました。「しらね」では、潜水艦や航空機に対応する装備や艦橋、戦闘指揮所(CIC)を見せていただきました。

2日目の7月30日には、まず海上自衛隊第23航空隊(京都

裏面につづく▶



裏面につづく▶

目で見る活動記録



総理講演を担当

【7月20日】日本青年会議所の担当者として、横浜にて開催された「サマーコンファレンス」において、総理をお迎えし講演していただきました!



別府公民館にてキャンドルナイト

【7月26日】例年行われているキャンドルナイト。今年も子どもたちや公民館のサークルの皆さんが参加し、盛大に行われました!

モリモリツアーを開催しました!

180名の方にご参加いただき、第2回モリモリツアーを開催しました。今回は美保の松原や忍野八海など、富士山にちなんだ名所を訪ねました。運営にご協力いただいた有志の皆様、ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました!





管制塔からの眺め

は、ここを飛び立って、艦船と行動を共にするそうです。

部隊見学最後の訪問地は、陸上自衛隊今津駐屯地(滋賀県高島市)です。戦車隊の拠点となっています。私たちは砂埃を上げて猛進する74式戦車に試乗してきました。戦車には、ナンバーや方向指示器(ウインカー)も付いており、道路交通法に従って一般道を走行することができるのでした。38トンもある戦車が大きな唸りを上げて走る様は圧巻です。帰路は航空自衛隊の岐阜基地から再びヘリコプターで入間基地へと戻り、解散となりました。



集団的自衛権の行使に関して、いろいろと世間が騒がしいご時世ですが、説明にあたっておられた隊員の方は、「私

SH-60K型ヘリコプター



試乗した74式戦車

たちは、どんな状況でも職務を全うするだけです!」と話されていました。国民の生命、財産を守るために、日々職務にあたられている隊員の皆様に改めて感謝の念を抱いた部隊見学でした。

安心・安全な国、日本の経験を世界へ! ～国連での会議に参加～

国連本部のあるニューヨークで7月23～25日に開催された、国連と国際青年会議所(JCI)が共催するグローバルパートナーシップサミット(GPS)に参加してきました。



ニューヨーク国連本部にて
この会議は2015年を期限とする国連ミレニアム開発目標(UN MDGs)の普及と達成を目的として開催され



ています。国連の開発目標に掲げられているのは、イラストにある8つです。飢えをなくす、乳幼児の死亡率を低くする、初等教育の普及を図る、といった目標については、日本ではあまり問題にならない課題かもしれません。今回の会議において、基調講演や分科会においても、このような世界的課題について参加者から発言がなされたのですが、日本人の立場からすると、世界の困窮する人々に対して、どんな援助ができるかということが中心となってきます。

日本について、悲観的なことを言う方も多いですが、食糧や水、最低限の医療に事欠くような世界の厳しい状況と



国連の会議場にて

比べてみると、本当に幸せな環境の中で暮らせているのだなと実感します。ただ一方で、私たちの国も、ほんの50～60年前には、こうした問題を抱えていたわけ

で、それを克服してきた経験を持っています。私たちの経験を少しでも他国の状況を改善するために活かしていくことが、幸せに暮らせていることの恩返しではないでしょうか。日本の将来を考える上で、外から見ることの重要性を改めて実感した数日間でした。日本青年会議所のメンバーと



日本青年会議所のメンバーと

INFORMATION

■ 明るい日本を創る座談会

8/26(火) 午後7:00～

佐谷田神社社務所にて

熊谷市佐谷田310

→ご参加の際は事務所までご一報ください。

■ 街頭演説

8月31日(日)

10:00～八木橋東口前

10:20～熊谷駅北口

10:45～埼玉りそな銀行行田支店前

11:20～羽生市中央三丁目交差点

11:50～加須市役所入口交差点

→日時は都合により変更する場合があります。

応援していただける場合には、事務所まで

ご一報ください。

活動報告



街頭にて



各地にて(熊谷→行田→羽生→加須) 7/27

座談会



熊谷市久保島地区久保島第一自治会館にて 7/31